

テレビとスマートフォンを使用した 個別コミュニケーションの利用による 避難準備意識と災害時避難行動の変化



国立高等専門学校機構阿南工業高等専門学校 創造技術工学科（建設コース） 加藤研二
三菱総合研究所・日本テレビ放送網・四国放送株式会社・豊島区・美波町

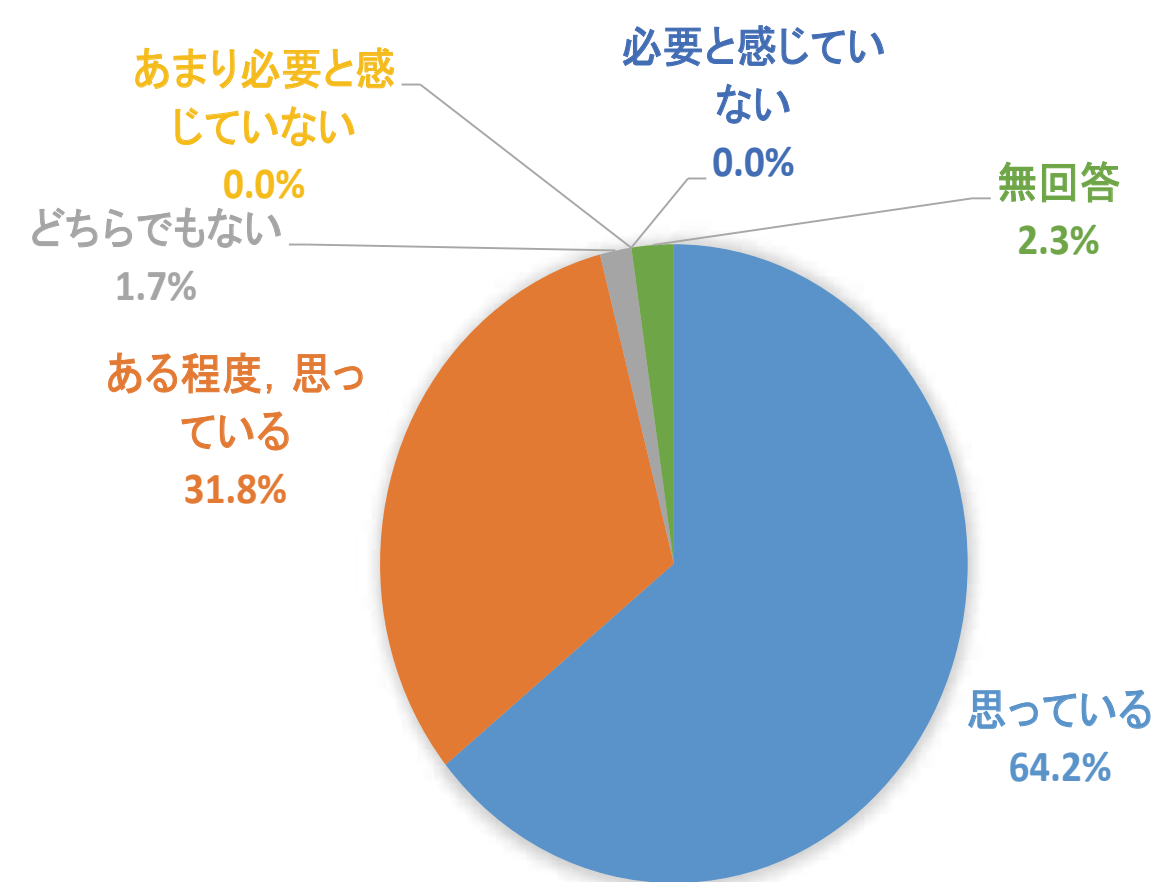
都市型災害対策に向けた住民の意識向上を目指した簡易 TFP

対象地：東京都豊島区（人口 27 万人，世帯数 16.6 万世帯）
2013 年にスイスの保険会社がまとめた「自然災害リスクの高い都市ランキング」において東京・横浜が世界で 1 番
また，東京などは自然災害そのものより，市街地の住宅密集地域における火災など二次災害などへの対策と災害への住民意識の向上が重要となっている。
このことから，豊島区では平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月にかけて，住民の意識向上を目指し「災害時避難行動と避難準備意識向上を促すマス・コミュニケーションツール」を用いた簡易 TFP を実施。

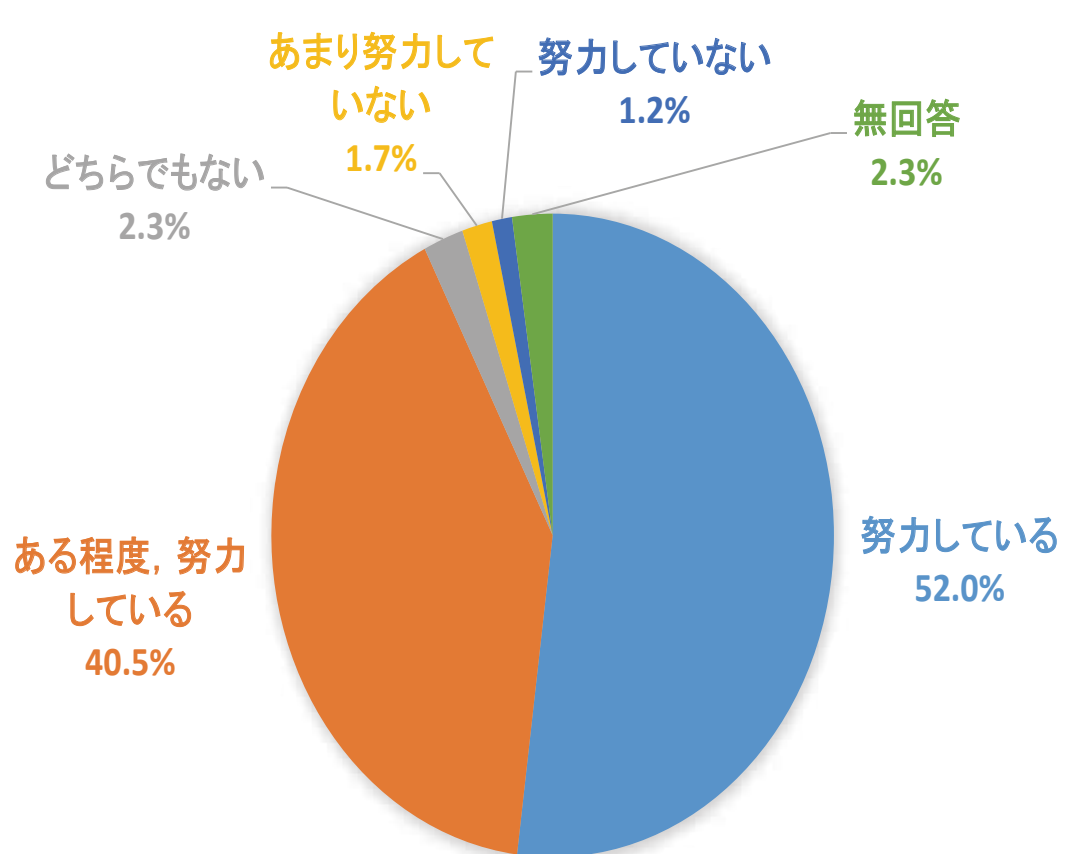


事前調査

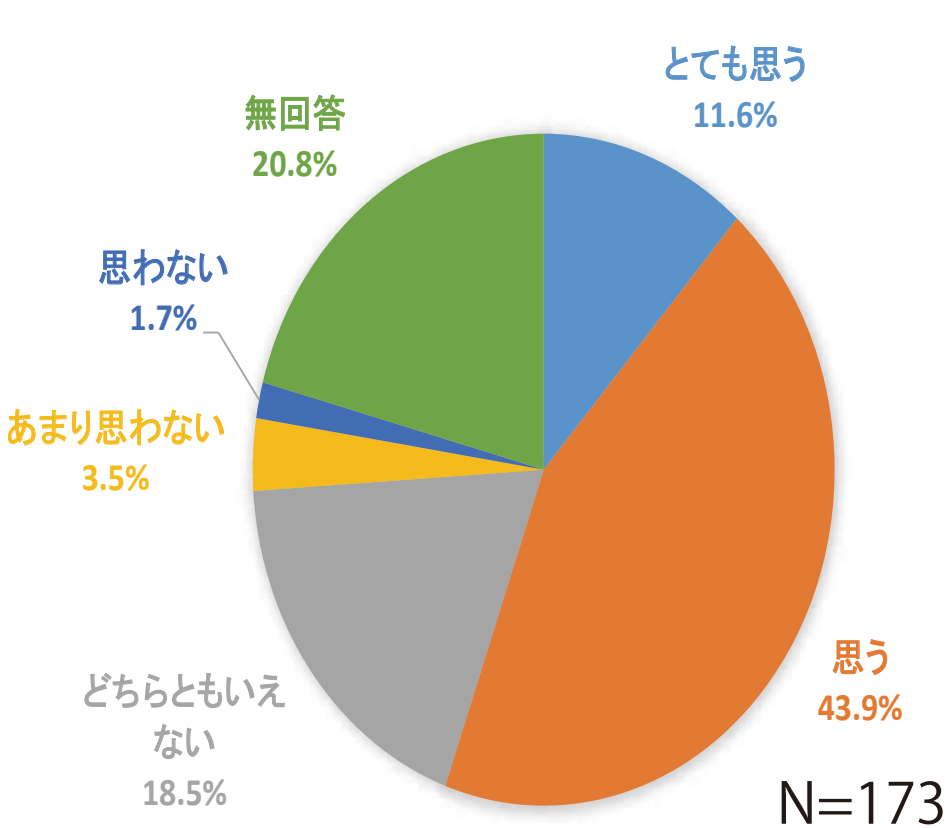
本調査は「放送と通信の融合による，災害に強い ICT 街づくり実証実験」においてツールと簡易 TFP の有効性について検討を行うために実施したものである。
調査は平成 26 年 12 月 15 日（水）～17 日（金）に実施され，豊島区に在籍する民生委員他，簡易 TFP に協力いただく 224 名中 173 人から回答を得た。



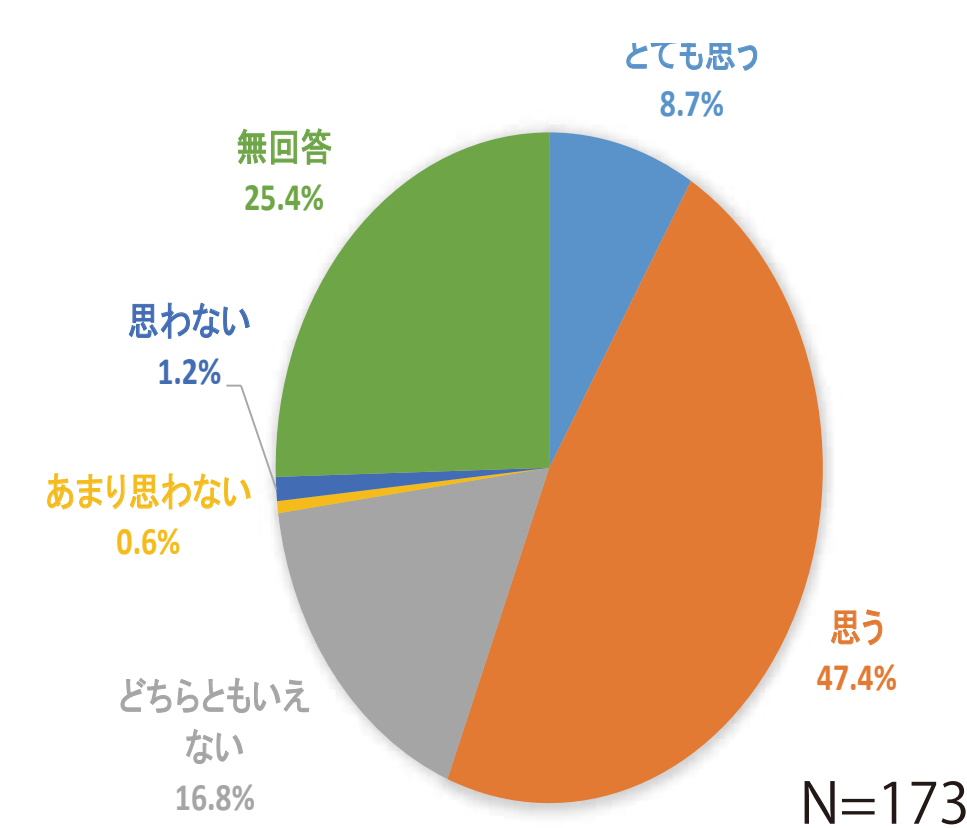
今後も「避難訓練」にできるだけ参加しようと思っているか？



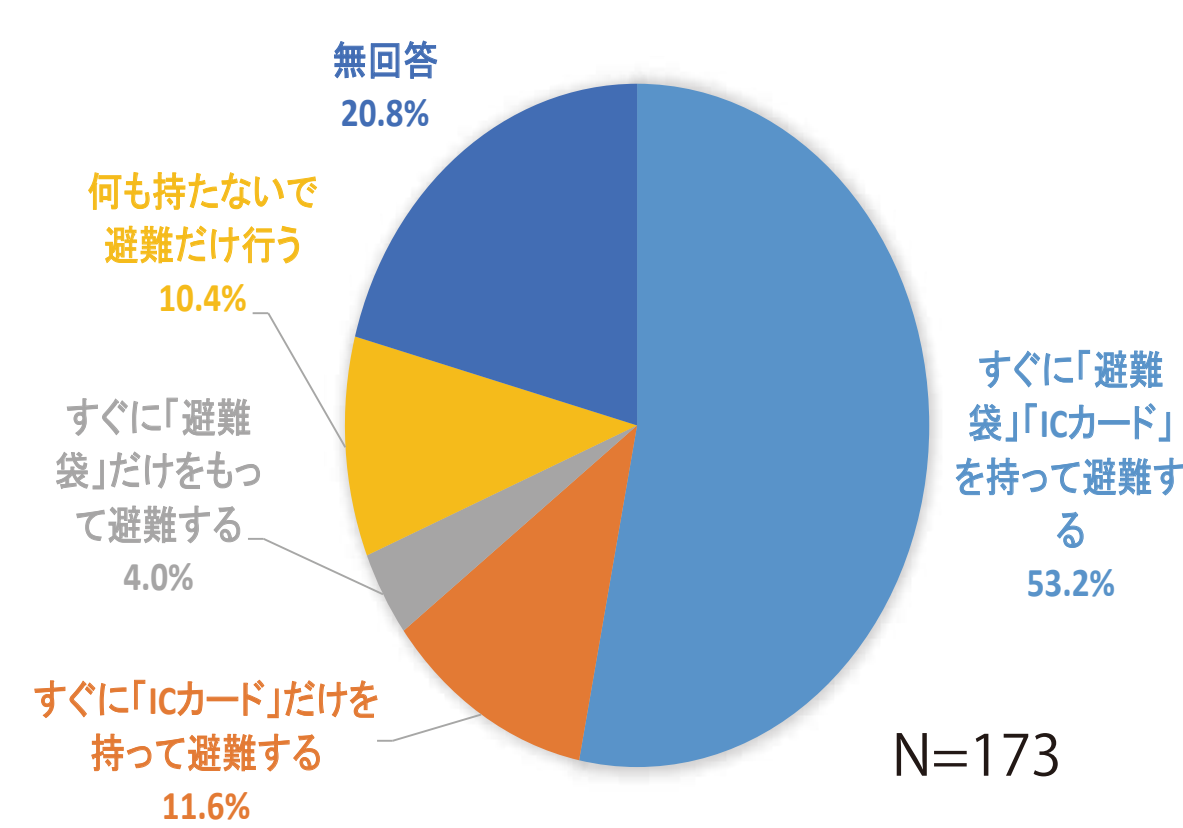
あなた自身は「避難訓練」に参加しようと努力していますか？



テレビへの「災害等情報配信」有効と思いますか？



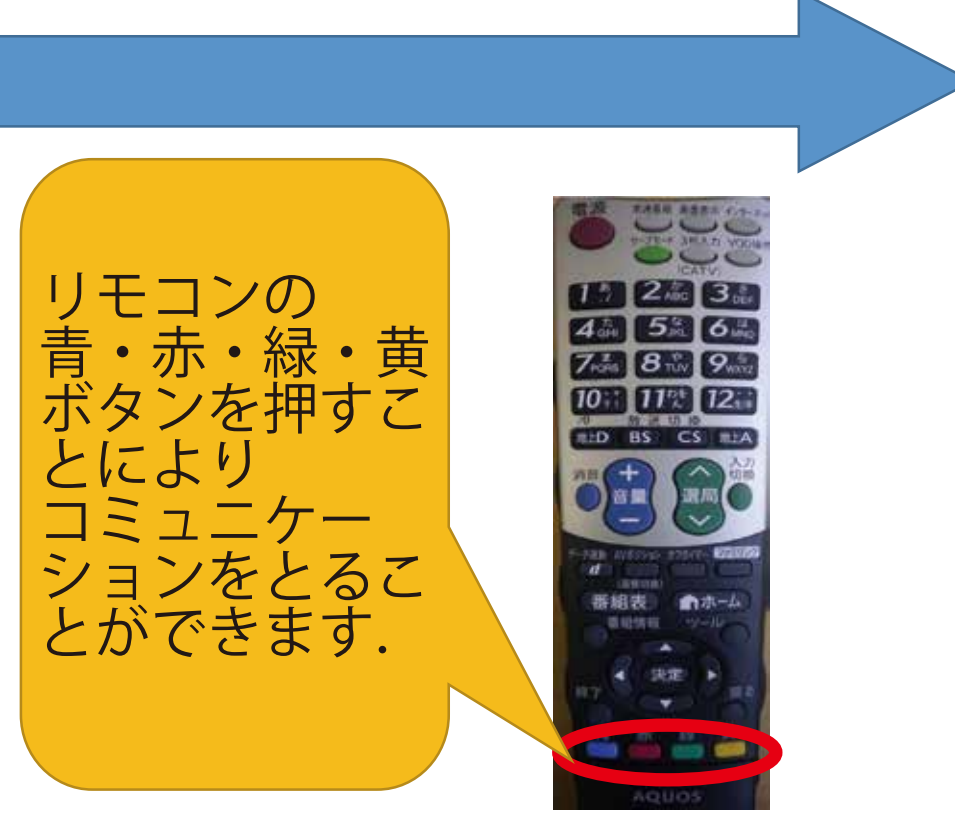
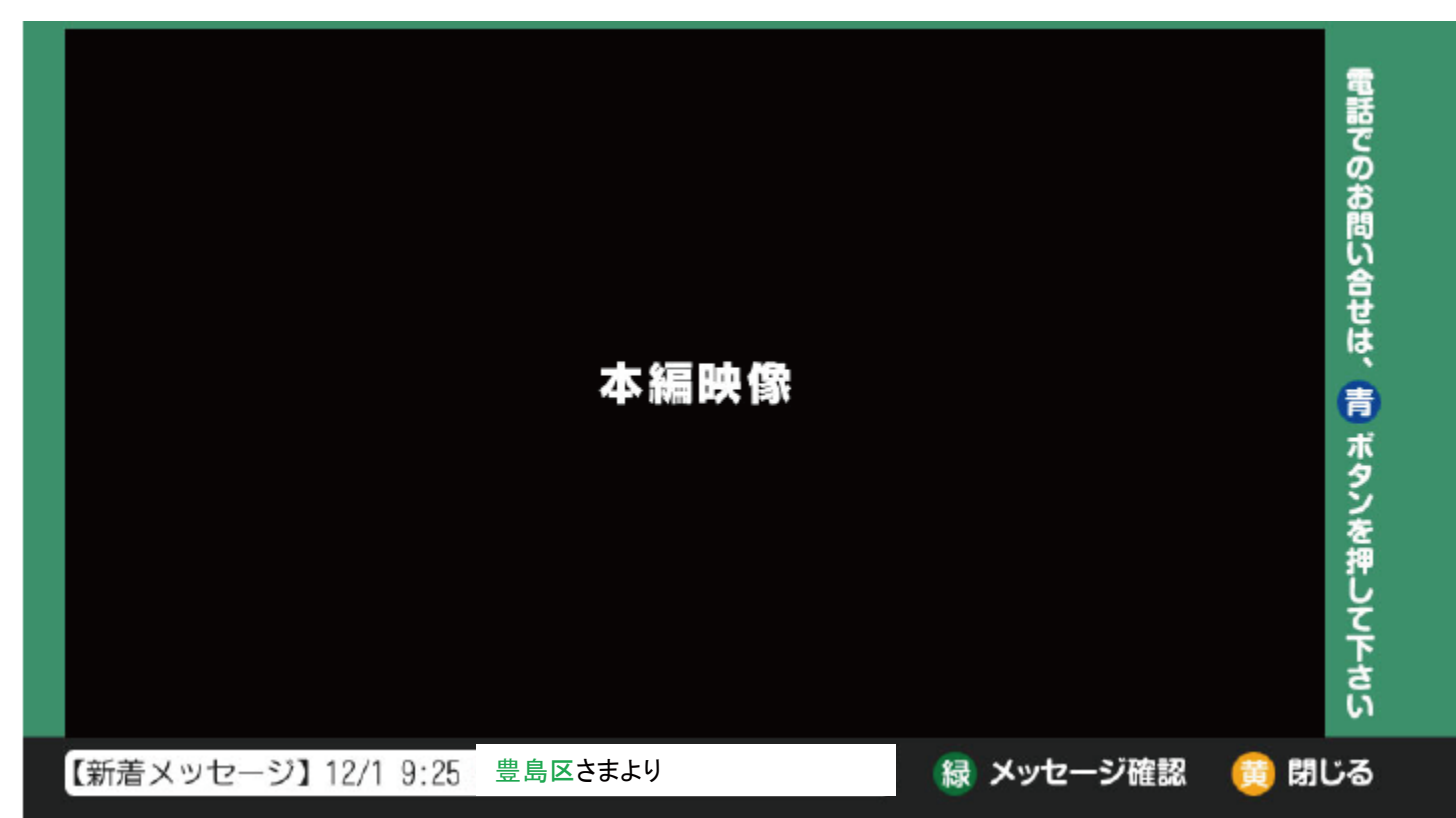
メールへの「災害等情報配信」有効と思いますか？



ご帰宅後すぐ地震が発生しました。どのような行動をとられますか？

災害時避難行動と避難準備意識向上を促すマス・コミュニケーションツール

本実験ではテレビ・スマートフォン等の ICT を活用し，より多くの方を対象としたコミュニケーションが行えるとともに，より効果的なアドバイスを送ることが可能なツールを用いた



コミュニケーションアンケートの効果と避難活動意志に関する調査結果

「備えあれば憂いなし」(12/25 配信)

年末年始にかけて、準備するものがたくさんありますが、何事も「備えあれば憂いなし」です。もちろん、災害に対する準備（避難袋・お薬手帳・ICカードの準備など）も、この機会に再確認をお願いします！

■ 全て準備 OK
 ■ 災害避難準備だけ OK
 ■ 災害避難準備は OK
 ■ 準備はこれから

「運動不足になっていませんか」(1/8 配信)

本年も、なにとぞよろしくお願いいたします。年末年始、運動不足になりがちです。避難経路を確認しながらウォーキングするだけでも運動不足解消につながります。是非一度「避難路ウォーキング」を、ご家族や親しい方々と試してみてくださいと幸いです。

■ すぐに行く
 ■ 今後、行く
 ■ 行くように努力する
 ■ 行かない

「自分の命・自分でまもる」(1/15 配信)

「今にも災害は起きるかも・・・」
 どんなときでも、まずは自分の命を守ること、すべてはここからだと思います。いつでも心構えと災害に対する準備（避難袋・お薬手帳・ICカードの準備など）を忘れずにいたいものですね

■ 今すぐ確認する
 ■ 今後、確認する
 ■ 確認するよう努力する
 ■ 確認しない

【豊島区より】●●さん、避難訓練開始です！(1/17 避難訓練)

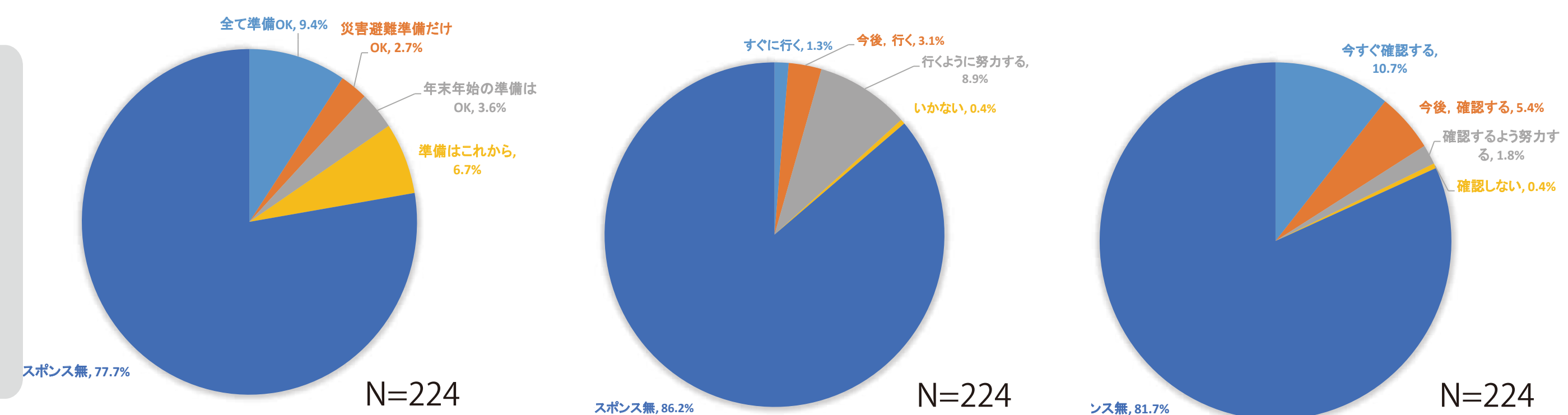
9時45分頃、東京湾北部を震源とするM7.3の地震が発生しました。安全に避難を開始してください。テレビのリモコンキーの上下キーの▼ボタンを押してください。

1度でも「災害等情報配信」を利用したコミュニケーションアンケートに参加した住民と1度も参加していない住民とでは1月17日に実施した「避難訓練」でのレスポンスに違いはないのか？

仮説:レスポンス無しの比率に差はない
対立仮説:レスポンス無しの比率に差がある

仮説を棄却: よって、レスポンスの比率に差がある！

アンケート結果はWEBで確認可能

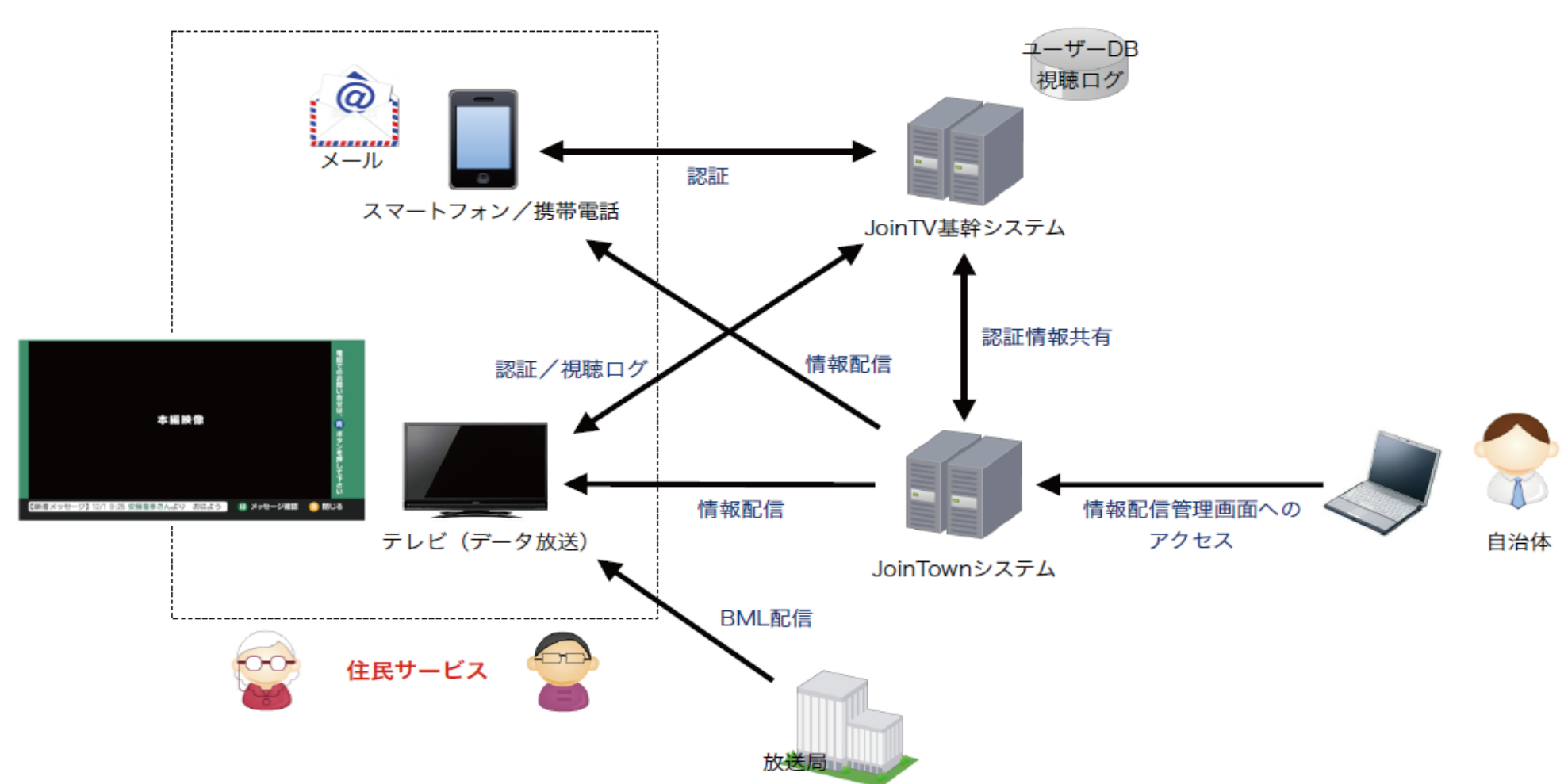


「備えあれば憂いなし」回答割合 「運動不足になっていませんか」回答割合 「自分の命・自分でまもる」回答割合

今後の展開



ICカード



今後は各種カードとの連携により、様々なマネジメントを展開することが期待できる。

本成果は総務省「ICT街づくり推進事業」により実施された「放送・ID融合サービスプラットフォームの構築及び実証」により得られた調査結果を用いております。ここに感謝の意を示します。